

令和3年度 学校自己評価システムシート (県立浦和西高等学校)

目指す学校像	自主自立の精神を生かして、国際社会に貢献できる人材を育成し、地域に信頼される進学校
--------	---

重点目標	1 確かで高度な学力を確立し、第一志望を実現する質の高い授業の実践 2 地域に信頼され貢献できる生徒の育成 (信頼される人間力の育成) 3 たくましく健やかな心身の育成
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	10名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	11名

(書面審査及び意見書の提出による)

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	<p>学力向上の取組の成果として、大学合格実績は国公立大学で、直近3か年の高水準と同等の合格者数を維持したほか、難関私立大学で過去最高を大きく上回る合格者数を出すことができた(いずれも現役生)。教員の指導が生徒の実態と組み合わせて成果を上げており、現在、躍進の時期にある。</p> <p>課題は、新学習指導要領に基づく新たな指導体制の構築、大学入学共通テストの動向把握と指導への反映、コロナ禍の中でも様々な学習機会を保障する取組等である。</p>	<p>高い志を持って目標を設定し、「確かで高度な学力」を身に付け、最後まで諦めることなく第一志望実現に挑む生徒を育成する。</p> <p>「確かで高度な学力」を身につけさせる質の高い授業づくりを推進するとともに、生徒一人一人の進路希望に対応した多彩で効果的な学習機会を提供する。</p>	<p>1 「確かで高度な学力」の育成、第一志望の実現</p> <p>①県指定事業「大学進学指導拠点校」を中核に据えた組織的・計画的な学習指導・進路指導の推進</p> <p>②大学入学共通テストをはじめとする新制度入試の動向把握と生徒への情報提供、新傾向問題の分析と指導への反映</p> <p>③進路相談や個人面談等による個に応じたきめ細やかな進路指導の実践</p> <p>2 質の高い授業の実践</p> <p>①生徒による授業評価アンケートの実施(年2回)、シラバス「西高CAN-DOリスト」を活用したPDCAサイクルに基づく授業改善</p> <p>②「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善(公開研究授業への参加、授業相互見学の実施等)</p> <p>③ICTを活用した学習指導の充実</p> <p>④新学習指導要領に対応した学習評価の検討</p>	<p>①国公立大学合格者・難関私立大学合格者(目標:国公立大学現役合格100名以上)</p> <p>②大学入学共通テストの受験状況</p> <p>①授業満足度の向上(前年度87.9%)</p> <p>「西高CAN-DOリスト」達成度の向上(前年度82.7%)</p> <p>②授業見学、研修会、授業互見等の参加教員の増加</p> <p>③ICTの活用状況</p> <p>④「学習評価」の検討の進捗状況</p>			次年度への課題と改善策
2	<p>従来からのメディアを活用しつつ、新規に学校紹介動画、施設紹介「スクールビュー」等を導入し、本校に関する情報発信を拡充させた。また、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底した上で、学校説明会、PTA・後援会主催講演会、斜面林保全活動等の地域連携活動を最大限実施した。本校に対する地域からの信頼は高まっている。</p> <p>課題は、一層充実した情報提供、コロナ禍の中でも、生徒が様々な地域連携活動に参加できる方策の検討等である。</p>	<p>様々なメディアを活用して西高の魅力や情報発信し、開かれた学校づくりを一層推進することにより、地域・県民との信頼関係をより強固なものにしていく。</p> <p>コロナ禍において、自ら率先して考え、工夫し、地域との交流や社会貢献活動に取り組むことができる生徒を育成する。</p>	<p>1 本校の魅力・取組・生徒の活動の発信</p> <p>①HP「西高Hot news」等の積極的発信</p> <p>②「学校通信」の定期的発行</p> <p>③学校説明会の効果的な実施、部活動見学会等の開催</p> <p>④PTA・後援会行事の情報発信</p> <p>2 地域との交流活動・社会貢献活動の実施</p> <p>①小・中学校等と連携した交流活動の実施</p> <p>②地域との交流活動(斜面林友の会・地元自治会等)や社会貢献活動(ボランティア等)への参加促進</p>	<p>①HPの更新回数</p> <p>②「学校通信」の発行数</p> <p>③入試倍率</p> <p>④PTA・後援会・地域住民参加者数</p> <p>①小学校等との交流活動参加者数</p> <p>②地域との交流活動参加者数</p>			
3	<p>「自主自立」の教育モットーのもと、生徒の自己管理能力を養い、望ましい行動ができる生徒が増加している。</p> <p>課題は、挨拶の励行、交通マナーの遵守をより徹底していくこと等である。</p> <p>また、社会に貢献するリーダーとしての資質をより一層向上させるため、チャレンジ精神を持って、他者と協働して行動できる生徒を育成していく。</p>	<p>学習面・生活面で自己を管理し、部活動や生徒会活動に積極的に参加することで、「西高力」(自ら考え、課題を発見し、その課題を解決する力)を育成する。</p> <p>国際社会に貢献し、活躍するリーダーを育成する教育を充実させる。</p>	<p>1 自己管理能力の育成</p> <p>①朝学習・家庭学習の奨励・支援(Classi、スタディサプリ等の活用)</p> <p>②部活動・生徒会活動・学校行事の充実(コロナ禍の中で、自ら考え、工夫し、他者と協働して計画・実施する)</p> <p>③自己管理能力の育成</p> <p>生徒会生徒指導部の連携による挨拶の励行と交通マナーの遵守</p> <p>2 グローバル(国際理解)教育の推進</p> <p>①オーストラリア交流事業(今年度渡航中止)のオンライン実施</p> <p>②ボストン研修事業、エンパワーメントプログラム等の実施</p> <p>③留学生の受入、海外派遣事業への参加</p>	<p>①授業以外の自主的学習時間の増加</p> <p>②部活動加入率:95%以上</p> <p>生徒会活動・学校行事の実施状況、執行部参加生徒数の増加</p> <p>③年間遅刻者数減少、挨拶の励行、交通マナーの遵守の状況</p> <p>①オーストラリア交流事業の参加者数</p> <p>②ボストン研修事業、エンパワーメントプログラムの参加者数</p> <p>③留学生の受入人数、海外派遣事業への参加者数</p>			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	